

2004年度「レイティング／フィルタリング連絡協議会」第1回研究会議事録

1. 日時・場所

日時：2004年12月17日（金）18:00～20:10

場所：虎ノ門パストラル新館3階「すいせん」

2. 参加者

座長

清水康敬（独立行政法人メディア教育開発センター 理事長）

委員

宮本潤子（ECPAT／ストップ子ども買春の会 共同代表）

高橋邦夫（千葉学芸高校 校長）

小河原昇（アルプスシステムインテグレーション株式会社 常務取締役）

吉田 奨（ヤフー株式会社法務部 マネージャー）

*別所委員代理

宮崎豊久（ヤフー株式会社サービス統括部 YPC 技術部）

*別所委員代理

オブザーバー

大野 譲（経済産業省商務情報政策局情報政策課 課長補佐）

能登部康生（総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課）

*渋谷氏代理

中村朋浩（総務省情報通信政策局情報通信政策課コンテンツ流通促進室
振興係長）

藤原一成（文部科学省スポーツ・青少年局青少年課 青少年有害環境
対策専門官）

中谷 昇（警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課 課長補佐）

丸山彰久（警察庁生活安全局少年課 課長補佐）

清水 昇（慶應義塾大学 SFC 研究所 研究員）

河野真太郎（インターネット倫理機構）

岸原孝昌（モバイル・コンテンツ・フォーラム 事務局長）

事務局

国分明男（（財）インターネット協会 副理事長） 他5名

3. 配布資料

- ・議事次第
- ・座席表 RF 研 2004-01-1
- ・委員・オブザーバー名簿 RF 研 2004-01-2
- ・本年度の研究会活動予定について RF 研 2004-01-3
- ・コミュニティ・サイトのレイティング動向 RF 研 2004-01-4
- ・都道府県の青少年健全育成条例の動向 RF 研 2004-01-5
- ・東京都青少年問題協議会資料 RF 研 2004-01-6
- ・SFS ブラウザのご紹介 RF 研 2004-01-7

4. 議事概要

(1) 大野課長補佐のあいさつ

- ・経済産業省大野課長補佐より、当研究会のメンバーに対してあいさつを行った。

(2) 委員・オブザーバー自己紹介

- ・当研究会に出席の各委員・オブザーバーより自己紹介を行った。
- ・今年度から、社団法人日本PTA全国協議会の藤田氏、ニフティ株式会社の山下氏、オンラインゲーム研究会の川口氏が委員として参加することとなった。

(3) 本年度の研究会活動予定について

- ・事務局より、資料 RF 研 2004-01-3 に従って本年度の研究会活動予定について説明を行った。

(4) 都道府県の青少年健全育成条例についての説明

- ・事務局より、資料 RF 研 2004-01-5、RF 研 2004-01-6 の内容の説明を行った。

○事務局：東京都で行っている議論は、業界の自主規制をインターネットでもやれないか、ということ。東京都はこれまでは保守的だったが、現状を打破しなければならないとの考えに変わってきている。協議会の委員は、自主規制では生ぬるいと言っており、親に任せなくてもやらないため、子どもに強制的にフィルタリング機能付のものを与えるよう要望している。これに対して、意見書を出している。

○座長：大阪府の条例が施行されてから1年8ヶ月になるが、効果はあったか？

○事務局：大阪府の人に聞きたいところだったが、本日は欠席のため分からない。

○座長：インターネット関連の条項のある都道府県はまだ少ないが、今後広まっていくのか？

○事務局：一気に広まることにはならない。自民党の有害情報対策法案等もくすぶってい

る。

(5) コミュニティ・サイトのレイティング動向について

・事務局より、資料 RF 研 2004-01-4 の内容の説明を行った。質疑応答は以下の通り。

○座長：キーワードによるブロックではどのくらい有害情報を防げるか？

○事務局：コミュニティ・サイトでは使われる言葉が変化していくのでそれに対応していく必要があるが、SFS での実験ではラベルビューロだけではブロック率が 50%程度であるものが、キーワードと併用することで 90%程度になった。キーワードによるブロックは、むしろ有害でないものもブロックしてしまうという問題はある。

○委員：コミュニティ・サイトには、更新が行われているダイナミックな部分と更新が終わったスタティックな部分がある。更新されていない、というのは安全な情報の 1 つだ。更新された日にちの要素を加えてみてはどうか。またラベル問い合わせ時にラベルがないサイトについてはキーワードによる暫定的なラベルを作成して返し、確定するまでの間は、他の問い合わせについても同じラベルをとりあえず提供するというのはどうか。

○座長：キーワードによるブロックは優良なものもブロックするということだが、ほとんどは有害なものと考えていいのではないか。

○委員：レイティングする時の問題として、優良であっても一部の人たちには有害かもしれないということがある。例えば振り込め詐欺の手口について、気をつけなさい、という意味で書かれたものは、犯罪の情報にもなり得る。学校ではこれまで、人を信じなさい、ということばかりを伝えてきたが、こういうものは信じてはいけない、という考え方に変えなければいけない。広く議論し、基準やガイドライン作りが必要だ。

○オブザーバー：今は、見せたり見せなかったりというのは、その場の裁量か？

○委員：先生の判断による。

(6) SFS ブラウザのデモンストレーション

・事務局より、資料 RF 研 2004-01-7 及びパソコンを用いて、携帯電話用 SFS ブラウザのデモンストレーションを行った。質疑応答は以下の通り。

○座長：設定では、優しいと厳しいの 2 種類のみだが、特定のカテゴリのみをブロックする等、実際には多様な要求がある。それらに対応可能か？

○事務局：今回はデモンストレーションということで、この 2 種類を用意したが、レイティング基準によって、フィルタリング設定を変えることは可能だ。

○委員：既存の標準ブラウザを使えなくする機能が必要だ。

○事務局：NTT ドコモのアクセス制限サービスなどと組み合わせれば、公式サイトを見る場合は標準ブラウザ、一般サイトを見る場合は SFS ブラウザ、と使い分けることで、有害

情報を防ぐこともできる。

○委員：携帯電話会社は中高生からも利益を得ているのだから、問題にはしっかり対応してほしいというのが教育現場の声だ。

○座長：アダルトなどの有害情報は、もともと存在することを分からせてはいけない。「このサイトは見るできません」等の表示によって有害情報の存在が分かれば、子どもはアクセスできなくても興味をもってしまう。表示させないことが大事だ。

○委員：携帯電話のフィルタリング機能は、いつぐらいに実用的なものになりそうか。

○事務局：携帯電話会社により温度差はあるが、いずれもフィルタリングは必要ということで、検討が進んでいる。

○委員：詳しくは言えないが、業界内では、来年の半ばくらいという話がある。設備や費用も相当かかる。

(7) その他

- ・ECPATのガイドについて委員から紹介をいただいた。

- ・事務局より、次回の日程について調整を行い、1月27日(木)18:00~20:00に開催することとなった。

以上